

3) 沖縄美ら島財団 寄附講座

山本広美¹・仲松由美子¹

キーワード：大学生 社会人 高等教育支援 寄附講座

1. はじめに

本講座は、沖縄県における高等教育を支援することを目的とし、かつ財団事業への関心向上、沖縄の歴史や自然への理解を深め、環境保全への意識向上、また次世代の担い手を育成し、産業振興へ貢献に資するものである。平成 27 年度より県内の大学において開講、今年度は大学側のガイドラインに基づき、国立大学法人琉球大学において対面講義を行った。

過年度まで公立大学法人名桜大学においても同様の講義を行っていたが、実施体制の再構築について大学側と協議・調整するため、今年度の実施は見送った。

2. 実施報告

1) 実施内容

琉球大学において、全学部生を対象とした選択科目講座「沖縄美ら島財団の地域資源活用論」として前期に開講した。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、4 月～7 月までの合計 15 回を対面講義で行った。各回の講師と講義内容は表-1 の通り。

各講義は、海洋博公園、沖縄美ら海水族館、首里城公園などの施設管理や、亜熱帯性動植物および歴史文化の調査研究に携わってきた当財団の職員が講師となり、「沖縄の動植物や自然環境」、「琉球の歴史文化」、「財団の取り組みや公園管理」の調査研究に携わってきた当財団の職員が講師となり解説を行った。

2) 実施結果

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受講人数を制限し実施したが、今年度は大学側のガイドラインに基づき人数制限を緩和しところ、66 名の登録があり、前年度比 173.7%であった。

今後、受講した学生の進路等への影響についてはアンケートを実施するなど、本講座の発展に繋げていく。

3. 外部評価委員会コメント

成果のあがったよい活動だと評価できます。受講生の学年、専門など、さらに過去の受講生の進路（この講座が活かされた）などの情報が欲しい。（後藤顧問：南山大学 教授）

¹普及開発課

表-1 琉球大学「沖縄美ら島財団の地域資源活用論」

	日	曜日	区分	講義テーマ(案)	担当	講師
第1回	4月14日	木曜	オリエンテーション 財団の事業概要	財団の設立経緯、目的など	琉球大学	小島 肇
第2回	4月21日	木曜	沖縄近海の生物①	サメやエイの基礎知識と保全に向けた飼育	魚類課	松本瑠偉
第3回	4月28日	木曜	沖縄近海の生物②	サンゴとサンゴ礁、海洋環境保全について	普及開発課	山本広美
第4回	5月12日	木曜	沖縄近海の生物③	沖縄の両生・爬虫類について	海獣課	笹井隆秀
第5回	5月19日	木曜	沖縄近海の生物④	ウミガメの生態と保全	魚類課	前田好美
第6回	5月26日	木曜	沖縄近海の生物⑤	沖縄の鯨類	動物研究室	岡部春奈
第7回	6月2日	木曜	沖縄の植物①	沖縄の野生植物の多様性と保全	植物研究室	阿部篤志
第8回	6月9日	木曜	沖縄の植物②	絶滅危惧植物を利用した新品種開発プロジェクト	植物研究室	佐藤裕之
第9回	6月16日	木曜	沖縄の植物③	熱帯植物を活用した展示装飾	植物課	島袋林博
第10回	6月30日	木曜	沖縄の植物④	沖縄産野菜の科学	総合研究センター	上地俊徳
第11回	7月5日	火曜	文化の継承①	琉球王国の歴史とその背景	琉球文化財研究室	幸喜 淳
第12回	7月7日	木曜	文化の継承②	琉球瓦の文化史	琉球文化財研究室	鶴田大 嘉手苺なつき
第13回	7月14日	木曜	文化の継承③	散逸文化財の収集と活用	琉球文化財研究室	宮城奈々
第14回	7月21日	木曜	文化の継承④	琉球・沖縄の船にまつわる文化について やんばるの(タンク船)調査報告 -成果と意義-	普及開発課	板井英伸
第15回	7月28日	木曜	総括	講義のまとめ・質問対応	総合研究センター	野中正法